

## 建設水道委員会会議録

### 1. 開催年月日

平成30年12月26日 開会 15時24分 閉会 17時37分

### 2. 開催場所

委員会室

### 3. 出席委員名

荒木謙二 坊野公治 大滝文則 上野安是

細羽敏彦 多賀信祥

### 4. 欠席委員名

なし

### 5. その他の会議出席者

(1) 議長 西田久志

(2) 副議長 惣台己吉

(3) 事務局職員

事務局長 川田純士 事務局次長 藤原靖和

主査 柳本兼志

### 6. 傍聴者

(1) 一般 0名

(2) 報道 0名

### 7. 発言の概要

**委員長（荒木謙二君）** それでは、ただいまから建設水道委員会の開会をいたします。

議長、副議長、局長は、先ほどの研修会講師の牧瀬先生の接待ということで後ほど出席をされます。

#### (1) 議会への提案の回答について

〈別紙、回答案のとおり決定〉

#### (2) 所管事務調査について

- ・新規就農者の住宅確保支援策について

**委員長（荒木謙二君）** 前回の委員会において、各委員が政策提言書案について12月17日までに修正意見を事務局に提出することにしておりました。その後、各委員から提出のあった意見を記載した政策提言書案を事前配付させていただいております。今回は、その政策提言書案の詳細な文面について協議していきたいというふうに思います。文面の協議に入ります前に、事務局から提言全体において委員会内で意見統一をしておくべきではないかという確認資料を作成していただいておりますので、これについて協議をいたします。

事務局から説明願います。

**主査（柳本兼志君）** それでは、資料としてお配りさせていただいております政策提言の確認事項という資料をごらんください。

少し気になる点として書かせていただいておりますので、委員会で協議していただきまして、そのままがいいというような決定も当然あるかと思っておりますので、協議をしていただけたらと思います。

1つ目、①ですが、単語として似通った表現が出てくるんですが、早いページ順に「北部の山間地域」という単語、「市北部地域の山間部」という単語、それから少しニュアンスが変わってくるんですが「市北部地域（芳井地区、美星地区、青野町、野上町）」という表記、次も少し違う意味にもとれるんですが「市北部地域（山間部）」、「市北部地域」、これはまた大分ニュアンスが変わってくるんですが「中山間地域」、「中山間部」、また「北部地域」とさまざまな単語が出てきております。これについて、表記が違ってもいいというところもあろうかと思えますし、同じ表現で統一をしたほうがいいというところもあると思えます。それぞれの文面の中での判断になると思うのですが、単語の羅列だけで判断するのは難しいかと思うんですが、統一の必要性について検討が必要ではないかと思っております。

2つ目、具体的な提言内容のところで目標値を定めるという文章で表現をされておりますが、その目標値を定める地域を建設水道委員会としてはどのような地域を想定しての提言であるのかというところですが、第一義的に思ったのが芳井地区、美星地区、青野町、野上町というところかと思ったんですがそれでよろしいのかという点と、またもう一つ、具体的な提言内容のところで、新規就農者に対する住宅を確保すべきという表現がありますが、ここでイメージしている対象地区というのは市全体のイメージであるのか、芳井地区、美星地区、青野町、野上町に限定をするイメージでいくのか、そういったところについても協議が必要ではないかと思っております。

3番目ですが、同じく具体的な提言内容のところに出てきます。中山間部の農業振興、人口減少の目標値の設定というところが出てきますが、この表現につきまして農業振興の目標値設定というところが文章として妥当であるかというところが少し頭の中にもありましたもの

で、目標値を設定する項目についてこのままでよいのか、はたまた括弧書きで書いておりますがもう少しわかりやすいような表現のほうがいいのか等について検討が要るのかなと思って書かせていただきました。

続きまして、4番目ですが、新規就農者に対する住宅を確保することを具体的な提言内容としておりますが、過去の委員会での委員間討議にも出てまいりましたが、具体的なことは示さないままであとは執行部に任せるというスタンスのままでいくのか、その前の所管事務調査や行政視察から見えてきたことに少し記載があるように委員会としての具体的な意見を少しでも入れておくほうがいいのかといった点も意思統一が必要ではないかと思っております。

続きまして、5番目ですが、こちらのほうは「1. はじめに」の文章の書きぶりをまとめたてみたんですが、農業振興課題解決のための新規就農者による移住・定住施策の研究という感覚で捉えさせていただきました。それが、「5. 所管事務調査や行政視察から見えてきたこと」を読んでみますと若干ニュアンスが変わってきていると感じまして、移住・定住促進施策の研究から見えた市北部地域の移住・定住促進施策として考えた新規就農による移住・定住促進の必要性及びその解決課題というような内容で捉えたんですが、1では農業振興に関する意見が中心という感じで、5のほうは移住・定住施策を中心とした書きぶりであるという辺りについて、細かいんですが少し気になっております。その辺も判断していただけたらと思っております。

6番でございますが、これは内容の確認ですがターゲットとする新規就農者の品目はブドウに限らず農作物一般ということで想定をしているのか、主にブドウに絞ったような政策として要望していくのかという辺りについて、委員会での意見統一が必要なのかなと思っております。

最後に、7番、小さな話になるんですが、提言書にはじめにがあるんですが終わりにという項目があったほうが読みやすいのかどうなのか、どちらもあると思うんですが、一応問題提起として確認事項に書かせていただきました。

**委員長（荒木謙二君）** それでは、議長が来られましたので議長よりごあいさつをいただきます。

#### 〈議長あいさつ〉

**委員長（荒木謙二君）** それでは、先ほど事務局が政策提言の確認事項ということで読み上げましたが、項目ごとにご意見をいただきたいというふうに思います。

まず、①の単語として北部の山間地域等々があるんですが、統一性の必要はないのかというふうなことです。

**委員（多賀信祥君）** もともと私が書いた文章の中の文言だと思うんですが、思いとすれば芳井地区、美星地区、青野町、野上町ということです。執行部が出されている都市計画マスタープランでは青野町と野上町が井原北部地域という呼び方であと芳井地域、美星地域だったと思いますが、もともと文章の書き始めは、その芳井、美星、青野、野上ということでした。ですので、中山間地域とか言ってしまうと井原市全体のようにになってしまうので、というところで単語の選択は難しかったんですけど。

**委員（大滝文則君）** 今多賀委員が言われたように、その文章の流れの中で統一する必要はあえてないんじゃないかと、その流れの中でそのときの流れで表現すべきところなんで。参考にされたのは何でしたですかね。

**委員（多賀信祥君）** 都市計画マスタープラン。

**委員（大滝文則君）** じゃから、そういう市の計画についてのそういうような表記ということで、統一の必要性はあえて僕はないんじゃないかと思えます。そのあたりは流れの中のことで別段同じような文章にする必要はないんじゃないかと思えますが、私は。

**委員（上野安是君）** 逆にある程度統一しとかんといけんのじゃないかなというふうに思います。「はじめに」のところの特に北部の山間地域って、そこで北部の山間地域が出たら、そりゃそのまま北部の山間地域でつながにゃいけんところがあると思うし、そこを市北部地域（芳井地区、美星地区、青野町、野上町）で決めたら、流れでそうせにゃいけん。そのあとは、例えば以下市北部地域と呼ぶかどうか分かりませんがそんな格好にして、市北部地域というのは提言書の中では美星、芳井、野上、青野なんじゃというところがわかりさえすれば割と整理もできるんかなというふうには思うんですけど。確かに、そりゃ全部統一しろという話ではないんです。だけど、今ここにあるように、6種類ぐらいあるんかな、6種類か7種類というような使い方はせずに、それはポイントを市の北部地域、芳井、美星、青野、野上がクローズアップされるような表現の仕方のほうがいいのかというふうな気がします。

**委員（多賀信祥君）** この提言書なんですけど、スタートがブドウ部会との懇談からで、作業場つき市営住宅ということからスタートしております。だから、ブドウの産地っていうことでずっと一貫している。事務局から出してもらったこの6番にも関係するんですけど、人口の減少率でいうと北部地域以外でも県主、稲倉も20パー近くですんで恐らく農村部ということになってくるんだと思うんですけど、そうするとぼやけてしまうので、大滝委員は気を使って言ってくださったんだと思うんですけど、一貫してはっきりさせとくほうが最後

までストーリーとして訴えが強くなるのかなと個人的には思います。だから、委員の皆さんで根本を、ブドウの産地ということが根底にあるのかどうなのかをはっきりさせて、それに対してイメージが湧きやすい言葉で統一するほうが良いと個人的には思っています。

**委員（細羽敏彦君）** それでいいと思います。

**委員（坊野公治君）** 私的には芳井、美星、青野、野上という具体的な地名が入ったほうがいいと思いますので、市北部地域（芳井地区、美星地区、青野町、野上町）、これをずっと書くと長くなるので以後市北部地域とすると、先ほど上野委員が言われたような書き方なるべくこれで書けるところはこれで統一していくほうが良いのかなと。その中で、山間部というような字句が必要な場所も出てこようとは思いますが、そういったところはまた山間部というような形を入れてもいいと思うんですが、基本的には統一していくほうが良いんじゃないかというふうには思います。

**委員長（荒木謙二君）** まとめます。市北部地域、これ微妙なんですけど、芳井地区、美星地区を含む。マスタープランのほうでは北部地域というのは青野町、野上町というふうなことです。それにプラス芳井地区、美星地区が委員会の中での考えにあったんじゃないかと思えます。あとは芳井町、美星町でなしに地区でいくか、あとは町ときとんで、ここらあたりもどんなかなという思いは若干あるんですが、委員の皆さんからは市北部地域（芳井地区、美星地区、青野町、野上町）、以下は市北部地域というふうなことに統一するというところでよろしいでしょうか。

#### 〈異議なし〉

**委員長（荒木謙二君）** 事務局、何かありますか。

**主査（柳本兼志君）** 後ほど文面の詳細を協議されると思うんですが、大滝委員も言われましたように文面の中でのバランスもあろうかと思うんですが、大まかにイメージを決めていただいて、最終的には文面を読む中で確認していただくとして、今はイメージ、大体の意思統一ぐらいで進んでいただいてもいいのかなという気もしております。

**委員長（荒木謙二君）** それでは、また校正時に検討していただくということになるかと思えます。

次の②の具体的な提言内容の目標値を定める地域は先ほどの市北部地域なのか、そして新規就農者に対する住宅確保は市全体かあるいは市北部地域なのかというふうなことです。皆さんの意見を伺います。

**委員（多賀信祥君）** 素案の原案をつくらせていただいたんですけど、つくってる段階で

は市北部地域に限定してつくっておりますし、今も個人的にその思いは変わっていません。

**委員長（荒木謙二君）** 皆さん、ほかにないようでしたら、市北部地域というふうな考え方でいくということによろしいですか。

#### 〈異議なし〉

**委員長（荒木謙二君）** 次に、6の具体的な提言内容での目標値設定項目についてでございます。これについてご意見をいただきます。

ここでは、まだ中山間部というふうになっておりますが、先ほどの決定でいきますと市北部地域というふうなことになるのかなともいうふうに思うんですが、そのあたりも含めて。

事務局、括弧書きのことを入れるか入れんかというふうなことも含めて検討する方がいいかな。

**主査（柳本兼志君）** 現案では農業後継者対策及び移住者の目標値を定めという文章なんですが、農業後継者対策という単語が目標値につながるのかどうか、はたまた移住者の目標値を定めるという点が今回の政策提言内容からすると若干ぼやけたような表現にもとれるというところがあるかと思うんですが。

**委員長（荒木謙二君）** 括弧書きのことを入れたほうがいいという点については……。

**主査（柳本兼志君）** それは例として出させていただいているんで、皆さんで検討していただければいいと思うんですが、先般各委員さんから出てきました意見に農業後継者の後に、新規就農者という単語を入れたほうがいいんじゃないかという案も出てきましたし、対策を取ったほうがいいというご意見も出てまいりましたので、それも含めまして、何の目標値を定めるのがよいかを検討していただいた方がいいのではないかと思います。

**委員（大滝文則君）** これは、議員のほうから出た案なのか事務局から出た案なのか。

議員から誰かあれはおかしкаろうという話が出てからつくったものかどっちなの、これ。今やりとり聞きようるところでわからんようになった。

**主査（柳本兼志君）** どちらですか。この確認事項ですか。

**委員（大滝文則君）** 確認事項。

**主査（柳本兼志君）** 確認事項は事務局で作成しています。

**委員（多賀信祥君）** 確認事項を読ませてもらって今考えに困っているんですけど、この6番の具体的な提言内容①を今読んでいくと、農業後継者や新規就農者及び移住者の目標値を定めというふうに直したほうがすっきり読みやすいかなと思います。

**委員長（荒木謙二君）** 後ほど読み合わせを行いますんで、そのときにまた改めてこの3

の項については協議させていただきます。

次に④、同じく提言内容の2、具体的な対策を全く示さないままでいいのかというふうなことです。

**委員（大滝文則君）** 先ほどの研修でもあったけども、結局執行部がやることなので我々は大まかの提案を一言、さっきの話で条例を仮に作るとすると要綱は執行部の管轄なんで余りその辺に僕はこだわる必要はないと思うんです。そのあたりを余りきちっとしすぎるとまた返ってやりにくくなるってこともあると思うので、ファジーと言うちゃおかしいですけどもその部分はある程度残しとつてもええんじゃないかと思う、僕は余りこだわらんでもいいんじゃないかとは思いますが、皆さんのお考えに反しますけれども。

**委員長（荒木謙二君）** これもさっきの3と関連がありますので、提言内容のほうを読み直した後にご意見をいただきます。

大滝委員は原文のままでもいいのではないかというふうなご意見でした。

次の1のはじめにと5の所管事務調査で見えてきたことの文章ですね。この2つは原案を書いた方が違うので内容は似通っているとは思いますが、若干統一性がないんじゃないかというふうなことなので、農業問題解決なのか移住・定住促進なのかどちらかにというふうな事務局のご意見でございます。

**委員（大滝文則君）** はじめには、農業振興問題解決のための新規就農者による移住・定住施策の研究という文章はどこへ書いてありますか。

**委員長（荒木謙二君）** ちょっと飛んだるんじゃないけど、新規就農、このような視点の中での2段目、目的としたの後、括弧が移住・定住施策、そしてその後研究を重ねというふうなところ。

**委員（大滝文則君）** それはわかる。農業振興問題解決のためにというのどこへ書いてある、そんな文章が。書き方でと書いとるけど。

**主査（柳本兼志君）** これにつきましては、このような内容で書いてあると書いた、要約した文章を書かせていただいております、文章の中に載ってるものではございません。

**委員（大滝文則君）** 書き方でと書いてあるけえ。

新規就農者による移住・定住施策というのは提言書タイトルをそのまま書いとるわけであって、そういった捉え方でこういう書き方になつとるという話じゃないと思うんだけど。

**委員長（荒木謙二君）** 読み上げを後ほどしますんで、そのときにもう一遍確認をさせていただきます。

⑥のブドウには限らないが主に想定されておるのはブドウという考えでよいかというふうなことです、よろしいですね、皆さん。ブドウという考え方で。

〈異議なし〉

委員（大滝文則君） ブドウと限定された表記というのはどこへあるのかな。

委員（多賀信祥君） ブドウは恐らく出てこないと思います。ただ、ブドウの産地が北部なのでブドウということかなと。

主査（柳本兼志君） これは、事務局から委員会の皆さんで意思統一をしていただいて、内容を決めていただいていたほうがいいのではないかとということで、確認事項として今委員会の中で協議していただいております。事務局が思っているとか提言書のどこに載っているとかということだけではなく、委員会の中でこういう提言をしているんだということを委員の皆さんで共有しておいていただく必要があるのではないかと提案です。

委員長（荒木謙二君） 想定としてはブドウであるかと否かというようなことになろうかと思えます。

委員（大滝文則君） 先ほども言いましたけど、先ほどの研修でも出たように基本的にはそうなるんかもしれんけども、それはあくまでも執行部に幅を持たせるという意味で明記とかそういうことをしっかり確認することにはまではならんんじゃないかと思えます。とりあえず大体流れの中で何を言わんかとするかがこれで十分わかる、それ以上につけ加える必要はないと私は思います。

委員（多賀信祥君） 大滝委員が言われるように、はっきり明記する必要はないと思えます。ただ、事務局からすればストーリー一つっていく上で意思統一が要するという意味で書いていただいとんかなということも思えますけど。

委員長（荒木謙二君） うったてがブドウ部会さんのお話というふうな多賀委員の説明の中でもありました。そういった点も踏まえてというふうなことで、文言には出てこんのですがこの委員会ではそういった想定も当然頭にあるというふうなことで進めさせていただきます。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） 次の⑦のはじめにはあるが終わりにがない、必要か必要じゃないかというところは。

委員（坊野公治君） はじめにというのは導入部分であって、終わりに具体的な提言内容ということで結論づけているので、特にこれに関してはこの書き方でよろしいと思います。



〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） それでは、このまま提言内容で終わるということで進めさせていただきます。

それでは、確認事項の中で残っている事項もあるわけなんですけど、はじめにから読み上げていただいて校正と一緒に皆様からのご意見をいただきたいというふうに思いますので、事務局読み上げてください。

〈事務局、政策提言書（案）「1. はじめに」を朗読〉

委員長（荒木謙二君） それでは、皆様からのご意見をいただきます。

まず、委員のほうから出た意見なんですけど、中山間地、北部の山間地域という言葉在市北部地域とするか、そして括弧書きして地域を入れるか入れないかということ、まずこれを検討していただきたいと思います。

委員（大滝文則君） この前段は全体のことを言うて、後段はその部分を言うてるんで、この部分が違うてもおかしくないんじゃないかと。

委員長（荒木謙二君） 前段は、井原市全体のというふうなことですね。

委員（大滝文則君） だと思っんですね。流れを全体のこととして、今回のテーマである北部の山間地域のところは特に大きな問題じゃということに流しとるつもりでおるんで、ここでの同じ名前にせんでもええんじゃないかとは思いますが。まあ皆さんでそれは決めてもらえば、これによって大きく結論が変わるんではないんで。

委員長（荒木謙二君） 大滝委員は元の表現のままがいいということですか。

委員（大滝文則君） 別段それによって大きく後段が変わってくることはないんじゃないかと思うんですけど。ありの部分はこちらでも結構ですけど。この中山間地というのは全体の地域の人口減少をあらわしとるんであって、今回のテーマは別段で書いとることなんで。

委員長（荒木謙二君） 前段については、井原市全体というふうなことで井原市が中山間地域というふうなことで中山間を使われておると。それと、問題については、北部の山間地域というふうな意味合いで書いとるからこのままでいいというふうな考えでございます。

委員（上野安是君） 最初のところが中山間地がいいのか山間地がいいのかがわからないです。後ろのほうは、先ほど意見しましたが、市北部地域で括弧してここで見せとくかな

と、スタートのところから載せるかなというふうなイメージで、あとはここに関するところは全部以下市北部地域というようにでも書いて、ここでいくか後ろのところに行くか迷るところですけども。

**委員長（荒木謙二君）** 上野委員のご意見は、前段はこのまま、そして中段の特にの後に市北部地域、括弧して芳井地区、美星地区、青野町、野上町、以下市北部地域とするというふうなここに入れたらというふうなご意見ですが。

〈異議なし〉

**委員長（荒木謙二君）** それで、1点、ありますのますを取ってありで点なんです、この点については。

**委員（坊野公治君）** 私は、問題があり、点、のほうがおさまりがいいように感じます。

〈異議なし〉

**委員長（荒木謙二君）** それでは、ほかに何か句読点等々も含めてご意見があれば。

**局長（川田純士君）** 字句の漢字なんですけども、まず一番下から2行目の拘わらずなんですけど平仮名のほうがいいのかなど。それから、もう一点、真ん中あたりなんですけども、後継者を如何にしての如何ですね、平仮名のほうがいいのかなど、読みやすいのかなと。

**委員長（荒木謙二君）** 今局長から読みやすくというふうなことで、中段の一番下、後継者を如何にしての如何にを平仮名、そして最後にのこの拘わらずを平仮名というふうにしたらというふうなことです。いかがででしょうか。

〈異議なし〉

**委員長（荒木謙二君）** それでは、そのように変えます。

**主査（柳本兼志君）** 最初の中山間地はそのままよろしいですか。

**委員長（荒木謙二君）** はい、そういうことです。

**次長（藤原靖和君）** 今の中山間地の前の言葉なんです、主な産業が農業であるというのを取ったらその文面全体は人口減少を訴えていると、その次から農業のことを加えたこと

を言っているので、ここは中山間地の前の主な産業が農業であるという言葉を取れば何かすっと入るんですが。

委員長（荒木謙二君） なるほど、読み上げさせていただきます。

特に、中山間地の人口減少は顕著であり、その対策は喫緊の課題でありますというふうにしたほうがというふうな意見です。

委員（大滝文則君） 全体に余り関係ない言葉なので結構です、それで。

委員長（荒木謙二君） 取るということによろしいでしょうか。

#### 〈異議なし〉

委員（多賀信祥君） 最後、下から２段落目の今回井原市議会としての提言書として取りまとめることができましたというところで、これからいくぞというところなんですけど、提言書に政策ということをつけ加えて重みを出していただきたいのと、としてが続くので井原市議会のなのかその辺の表現についてはこのままいくのか……。政策はぜひ入れていただきたいと思います。

私が思ったのは、今回井原市議会の政策提言書として取りまとめることができました。

委員長（荒木謙二君） それでは、今回井原市議会の政策提言書として取りまとめることができましたに変えてください。

１．はじめにはよろしいでしょうか。

#### 〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） 次の２．調査の経緯について、事務局、読み上げてください。

#### 〈事務局、政策提言書（案）「２．調査の経緯」を朗読〉

委員長（荒木謙二君） この項について何かありますでしょうか。

１点。最後のこのたび政策提言として取りまとめましたというところ、書が要る、要らん。統一せんといけんのかなと。

委員（上野安是君） 提言書として取りまとめましたでいいと思います。

委員長（荒木謙二君） 書を入れるということによろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） ほかに何かありますでしょうか。

〈なし〉

委員長（荒木謙二君） 次の3を事務局、読み上げをお願いします。

〈事務局、政策提言書（案）「3. 所管事務調査の実施内容」を朗読〉

委員長（荒木謙二君） それでは、3の所管事務調査の実施内容について、何か委員の方からご意見ありましたらお願いいたします。

委員（多賀信祥君） 表題の部分にも関係すると思うんですが、新規就農者による移住、中点、定住なのか、移住定住で続けていくのか。かぎ括弧で表題的に扱われてる部分は中点が入ってると思うんですが、そのとおりになっていないのが平成30年12月11日のかぎ括弧、新規就農者による移住定住施策のところの中点が要るのかどうなのかってところがあると思います。10月16日もですかね。提言書のタイトルとそこをリンクさせるために提言書のタイトルを決めないといけないかなと思うんですけど。

委員長（荒木謙二君） 提言書のタイトルに戻ります。タイトルにも訂正意見があったんですが、中点を入れたらというご意見があったようです。

それと、もう一点、提言書のタイトルにここまで詳しく書くか、政策提言書だけでいってしまうかというふうな案もあろうかと思うんです。

まず、表題についてご意見があれば。

委員（多賀信祥君） 今新規就農者による移住・定住施策ということではありますが、移住と定住の間にぽつを入れて、表題完成ということにさせていただければと思います。

委員長（荒木謙二君） 3の所管事務調査の実施内容についても同様ですか。

委員（多賀信祥君） かぎ括弧がついているところに関しては、過去に正式にそれを題として調査なり会議が設けられたことであろうかと思いますが、統一できる場所に関しては点を入れて統一していきたいと思います。

委員長（荒木謙二君） それでは、10月16日の1行目、9月14日も、それと10月19日、それと12月11日、今見える範囲はそれぐらいなんですが。

主査（柳本兼志君） 多賀委員の発言は、括弧のところは点を入れないという意見だった

んではないんですか。

**委員（多賀信祥君）** この提言書の最終として点が入ったというところで、統一できるところは統一するという意味です。

**主査（柳本兼志君）** それでは、過去に実施をした所管事務調査のタイトルについても点を入れるということによろしいですか。この提言書内では、そのときの調査タイトルについても直して記載するというか、そういうことによろしいですか。

**委員（上野安是君）** そこは微妙なところで、今の統一するという意見もわかるんですが、実際には点なしで追いかけてきとったんで、実際の提言書に点を入れたところから点を入れても別に違和感はないかなということもある。でも、そうすると検討経過は残るけど、何でここから点を入れてあるのかなという話にもなるんで、さあどうするか……。

**委員（多賀信祥君）** 素朴な疑問で、今まで政策提言書（素案）ということですとやってきとんですけど、かぎ括弧にはその表題も書かれとんですけど、例えば30年9月14日以降は政策提言書（素案）について協議しましたとはいけないんですかね。

**委員長（荒木謙二君）** その新規就農者によるというところをとってしまうと。

**委員（多賀信祥君）** はい。

**委員長（荒木謙二君）** 政策提言書（素案）について協議しましたというふうなご意見ですが。

**主査（柳本兼志君）** 一つの方法としてそれもアリだと思うんですが、ほかの記載部分で所管事務調査内容についてもその内容をわかりやすく記載したいということで、例えば29年9月14日でしたら所管事務調査「就農者向け住宅支援について」とタイトルを書いたりするところとのバランスも考えた方がいいのではないかと……。今の政策提言書素案について協議しましたという文言でも十分内容は理解してもらえらると思うんですが、皆さんの好き好きかなと思います。

**委員長（荒木謙二君）** 一つの考え方として、素案から下は点を入れていって、それ以前は点なしでも構わんのかな。

**委員（多賀信祥君）** 実際行ってきた会議どおりの表記でいく、私はそれで構いません。

**委員長（荒木謙二君）** 移住、点、定住、中点を入れるか入れないかということなんですが、委員の皆さんからご意見をいただきます。

**委員（多賀信祥君）** 中点を入れて統一したほうが良いと思います。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） それでは、中点を入れて統一するということで進めさせていただきます。

事務局、何かありますか。

主査（柳本兼志君） 平成30年7月30日の2行目、かぎ括弧の後ろの点が要らないのではというご意見が先程出ていましたが……。

委員長（荒木謙二君） それでは、そこは点なしということで、次の行政視察の実施内容について、事務局、読み上げてください。

#### 〈事務局、政策提言書（案）「4. 行政視察の実施内容」を朗読〉

委員長（荒木謙二君） 先ほどの話でいきますと、括弧の後の点が3カ所あるようなんで、これは削除ということでよろしいですか。

#### 〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） ほかにございますか。

主査（柳本兼志君） 文面的なことですが、一番上ですと、京都府綾部市で定住促進施策について、点、奈良県大和郡山市で移住・定住促進事業について、行政視察を実施しました、という文面が通常の文面としてあるようなないような文面なんですけど、全部がそのような形で書いてあるんですけど、このままでよろしいでしょうか。

委員長（荒木謙二君） 例えばどういうふうな表現があるのかな。

主査（柳本兼志君） 例えば大和郡山市ですが、移住・定住促進事業についての行政視察を実施しました、などではどうでしょうか。

委員（坊野公治君） 最初の文章で下記行政視察を実施しましたと書いてるんで、京都府綾部市、移住・定住促進について、奈良大和郡山市、移住・定住促進事業についてでとめてもおかしゅうないのかなと思いますけど。上で実施しましたということを文章に入れてあるんで、あとは箇条書きにして。

委員長（荒木謙二君） 今副委員長から、各都市と視察テーマだけ箇条書きで記載するというご意見ですが、そのように変更ということでよろしいでしょうか。

#### 〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） それでは、5の所管事務調査や行政視察から見えてきたこと。これは、真ん中まで、具体的にこの段落の前まで、事務局読み上げて。

〈事務局、政策提言書（案）「5. 所管事務調査や行政視察から見えてきたこと」  
上から4段落を朗読〉

委員長（荒木謙二君） まず、委員の方から気づいた点がありましたらよろしくお願ひします。

委員（上野安是君） 上から2行目ですけど、移住・定住者の受け入れを目指していますというのが日本語としてどうなのかなという思ったんで、移住・定住者の受け入れに力を入れていきますというほうがいいのかと思います。

委員長（荒木謙二君） 今上野委員から2行目、受け入れを目指していますを受け入れに力を入れていきます、というふうなご意見です。よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員（上野安是君） 5行目、またの後に井原市の移住・定住促進施策だけでなくがあるんですけど、その前文に載っかってるので、またの後の井原市の移住・定住促進施策だけではなくを消しても大丈夫だと思います。

委員長（荒木謙二君） 5行目のまたの後、井原市の移住・定住促進施策だけでなくが前行にあるので削除というふうなことです。よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） 4行目、市がという前に井原を入れるほうがいいか、これについては入れるということによろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） それと、6行目、都市及び移住者に変えてよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） その後、さらにこの段の2行目、度合に送り仮名を入れる、よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） その前に戻りますが、これらの調査の段落、2行目に施策を入れる、よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） さらにこの段落の4行目、あってもよいと考えるを期待されるに変わる、よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） それと、しかしこの段落、2行目、市北部地域の山間部のところ、山間部を取るということでよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） それでは、ここまでで何かありますでしょうか。

〈なし〉

委員長（荒木謙二君） 続けて、事務局、このページの下まで。

〈事務局、政策提言書（案）「5. 所管事務調査や行政視察から見えてきたこと」  
5段落目～このページの最後までを朗読〉

委員長（荒木謙二君） それでは、委員の方からご意見いただきます。



まず、具体的にこの段落の2行目、市北部地域は括弧を取ります。

それから、人口が何%減というところは変更になつるというふうな説明でしたが……。

**主査（柳本兼志君）** 資料2をごらんください。多賀委員から提案していただいていた表を少し変更した方がいいのではないかとのご提案なんです、今までの表には平成18年から記載がありましたが、文面に合併後の比較ということがありましたので、合併が平成17年3月なので平成17年の数値を表に加えた方がいいのではないかと思います。加えていただいております。

それと、従来は都市計画マスタープランから旧井原市の北部地域ということで野上、青野を北部地域として表を作成されていましたが、この政策提言書の中では美星、芳井、青野、野上を市北部地域とすると皆さん意見統一されていたようなので、北部地域とそれ以外の数値については芳井、青野を加えた数値に変更して表をつくり直させていただいております、これらに伴いましてそれぞれのパーセントが変わってきております。

**委員長（荒木謙二君）** 減少率については、そういった説明でございました。

続いて、これからの結果からの段落、4行目から5行目、が有効だと考えを取って、特にを加えるというふうな意見が出ているんですが、これについてはよろしいでしょうか。

#### 〈異議なし〉

**委員長（荒木謙二君）** それと、その2行下の同を取って市北部地域に、これは統一しましたので変えさせていただきます。

それからその1行下、囲い文字の部分なんです、これは要らないんじゃないかというふうな意見も出るとありますが、これについては。要るか要らないか。要るんであれば文章の訂正も意見が出ているんですが。

**委員（大滝文則君）** なくても話は通じると思うので、なくてもいいかなと思います。

**委員（坊野公治君）** 否定的な文面になるので、ないほうがおさまりがいいのかなと。

**委員長（荒木謙二君）** ないほうが良いというふうなご意見が多いので、取っていただきたいと思っております。

その次の段落、市全体を対象にした全ての施策を講じることは困難であり、これも削除したらというふうなご意見がありますが。

**委員（坊野公治君）** 取れば良いと思っております。

#### 〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） 取るということで決定させていただきます。

そして、その段落にある中山間地域は市北部地域に変更、それから一番下の必要の後ろにあるをつけ加えるということ、よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員（上野安是君） 今やっているとところの上から8行目、一つの施策としてというのがあ  
るんですけど、これは取っても大丈夫だと思います。

委員長（荒木謙二君） 一つの施策としてを取ったらというふうなご意見です。よろしい  
でしょうか。

〈異議なし〉

委員（上野安是君） その次の行の地域振興方策というんがここで初めて方策が唯一1個  
出てくるんですけど、別に施策でも構わんと思う。

委員長（荒木謙二君） 方策を施策、よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

局長（川田純士君） 今しております2行目、どのくらい人口が減少してるか調査した、  
これは要らないんじゃないかと思うんですが。人口を比べてみたところでもいいのではないか  
と思うんですが。

委員長（荒木謙二君） という意見ですが。比べてみたところに変更してもいいでしょう  
か。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） 現在のところで、ほかに、何かありますでしょうか。

〈なし〉

委員長（荒木謙二君） それでは、次のページを読み上げてください。

〈事務局、政策提言書（案）「5. 所管事務調査や行政視察から見てきたこと」  
2 ページ目を朗読〉

委員長（荒木謙二君） まず、一番上から3行目にかけてが要らないのではないかというご意見ですが、いかがでしょうか。

委員（大滝文則君） 取ってもよろしいです。

委員（細羽敏彦君） よろしいです。

委員（坊野公治君） あってもええような気もするんですけどね。

委員（多賀信祥君） 読みやすさという部分も必要かと思うんですけど、今の井原市でいうと近隣と同等というところがまず一つあって、住宅確保に対する支援というのは井原市クラスの自治体では行っていないので、もう一步踏み込んで、支援施策を実行していこうという意味であったほうがいいのかないかなという思いもあります。

委員長（荒木謙二君） 今お二方の委員はなくてもいいんじゃないかというふうなご意見で、お二方はあってもいいという意見ですが。

委員（大滝文則君） あってもいいんですよ、そりゃ。

委員（坊野公治君） 今多賀委員言われたように、井原市の取り組みというのを他市と同等というのは私は入れておいたほうがいいのかないかなと思いますので、あってもいいと思います。

委員長（荒木謙二君） そしたら、残すということで、よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） 上から5行目、非常に取る、よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） 一番下の行、今後とも、のとを取る、よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員（多賀信祥君） 最後への段落で、今後も継続して必要な施策を検討していくことが必要であるということで、必要が並ぶのが読んでいて違和感があるので……、ただ重要にしてしまうと弱くなるのかなと思って悩んでるんですが。

委員長（荒木謙二君） 必要な施策と検討することが必要は違う内容のどこなんで、必要が続くけどいいとは思いますが。

就農希望者という文言がここで初めて出てくるな。今までは新規就農者できとるのにここだけ就農希望者になつとんじゃけど、新規就農者が最初にあるけえこれを取るような文言にはならんかな。新規就農者が就農先を検討する段階や実際に相談を受ける際に心配している、就農希望者がを取ったらどうでしょう。

主査（柳本兼志君） 就農希望者というのは、もしかしたら就農する前の相談段階というイメージを持つ単語として使われとるかもしれません。

委員長（荒木謙二君） 新規就農者というのはその前段階も含めて使えると思うんで、なくても続くとおもうんですが、よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

局長（川田純士君） 上から5行目で、非常に多い事実があったためは、非常に多くあったためでいいと思います。

委員長（荒木謙二君） 非常に多くあったため、ということでよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） 最初に協議した確認事項⑤の「1. はじめに」と「5. 所管事務調査や行政視察から見えてきたこと」の書きぶりの違いが全体にわかりにくい点ですが。

委員（上野安是君） 幾らか内容がシフトしてる部分はあるんですけど、これでいいと思います。

〈異議なし〉

次長（藤原靖和君） このページの上から6行目なんですが、新規就農者が就農時に住宅を確保できるための支援と書いてあるんですが、住宅を確保するための支援の方がいいと思

うんですが。

委員長（荒木謙二君）　　ということに訂正でよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君）　　ほかに、現在のところで何かございますでしょうか。

〈なし〉

委員長（荒木謙二君）　　6. 提言内容について、事務局、読み上げてください。

〈事務局、政策提言書（案）「6. 具体的な提言内容」を朗読〉

委員長（荒木謙二君）　　まず、1の中山間部は市北部地域に変更。それと、農業後継者の後に新規就農者を入れる。それと、対策をとるというふうな委員の方からのご意見です。よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君）　　確認事項に戻るんですが、③農業振興・人口減少問題の目標値設定項目は適切かどうか。適切であるということであればこのままでいくんですが。

委員（多賀信祥君）　　一般質問では地域限定での目標値はできないという執行部の考えでしたが、ストーリーとして減少率が激しいので、これが一つの大きい提言だと考えるので、どういう取り組みができるのかというのを見てみたい気がしているので、私はぜひこのままいきたいのですが。

委員（上野安是君）　　確かに目標設定できるかという、目標値が定められるかというとなかなか微妙なところもあると思うんですけども、今多賀委員が言ったようにここはそういう意味では具体的に取り組むための肝なんかと思うので、変更後のままでいけばいいのかなというふうに思います。

〈異議なし〉

**委員長（荒木謙二君）** それでは、修正した項目の、目標値設定は残していくということ  
でいきます。

次の提言内容②の移住・定住には中点を入れます。これについては、確認事項の④具体的  
解決策は示さなくていいか、先ほど大滝委員はこの文言で十分、こっから先の細かいことは  
執行部がいろいろ考えてくれればいいというふうなご意見でありました。これについてこの  
ままでいいかどうかについて。

**委員（坊野公治君）** 作業場つきの住宅とか具体例を出す方法もあると思うんですが、  
もし仮にそれができなくとも別な方法ということもあるのであれば、ここはこの書き方で含  
みを持たせるということでもよろしいのではないかなと思います。

#### 〈異議なし〉

**委員（多賀信祥君）** 同じ意見でありますけど、5の2ページ目の5行目の終わりから行  
政の支援として新規就農者用の住宅建設を含めてということで記載があるので、事務局の指  
摘があったのかなと思います。ですので、逆にここも取ってしまうという手もあるのかなと  
……。難しい問題なので、きょうの段階ではこの文章のままで。

**委員長（荒木謙二君）** それでは次に、具体的な提言内容③、これについては直しはござ  
いませんが、何かございますか。

**局長（川田純士君）** まず、字句の確認だけなんですけども、紛らわしいので移住の後  
を、移住後に。それから、活用しながらとなっとなんですけども、このながらは要らないんじ  
ゃないかと思います。最後ですが、実行になっとなんですけど行うでいいのではないかと思  
います。

**委員長（荒木謙二君）** ただいまの変更について、よろしいでしょうか。

#### 〈異議なし〉

**委員長（荒木謙二君）** 続いて、事務局、参考資料について説明をお願いします。

**主査（柳本兼志君）** 参考資料の題目ですが、資料1の井原市、スペース、移住・定住の  
支援制度という表記、いま一つしっくりきてないところがあります。

資料2につきましては、先ほど説明させていただきました平成17年を入れたのと北部地  
域には野上、青野、芳井、美星を記載して、下の2行に北部地域合計を4地区の合計数字、  
そしてそれ以外の数値を別掲で載せたということ。下の米印では要点みたいなことを書いて

いるんですが、これはこのまま本文にも出てくるんですが、ここに記載が必要かどうかというところでは。

資料3につきましては、これは私が自分で入れさせていただいたんですが、このような所感等が要るのかどうかというところ。これについては、資料を見る人に委員会の調査結果として、こういったことが見えてきたんだという内容を所感として強引に書いているんですが、2つ目は提言内容に余り関連していないかもしれません。

資料4は、農林課がつくってくれた資料なので余り深く校正はしてませんが、農林課としては配布用でもないただの参考資料なので、ひょっと誤り等もあるかもしれません。

資料5に関しては、委員会の行政視察報告書をもとにこの政策提言書に関係している部分を恣意的に引っ張ってきております。もっと省略することもできると思いますし、どこまで状況を説明する必要があるのかについて、資料5では4ページ丸々載せておりますがここまで載せる必要があるのかという点が少し気になっております。

資料6、農業後継者に関するアンケート結果ですが、まだ少しアンケートの提出がありません。これをいつの時点まで反映させるか、最終政策提言は3月になると思うんですが、そこまで引っ張るのかどうか。あと、問7の井原市の農業政策への要望等について、これを全部載せるかという意見をいただいております。

あと、資料6、資料7につきましては、回答の掲載順を数値順にしたほうがいいのかどうか、そこを少し考えました。資料7につきましては、回答の多い順に並びかえさせていただきました。また、こちらにも意見について一個人の意見をこの政策提言書に丸々、そのまま載せておいたほうがいいのかどうかについて。

資料8につきましては、お手元のほうに別途配付させていただいておりますが、以前よりも新しい数字が最近出ておりましたのでそれへの差しかえについて、多少数字のイメージが変わってしまうのかもしれませんが最新の表でいいかどうかをご協議いただければと思います。

**委員長（荒木謙二君）** それでは、参考資料の資料1、井原市移住・定住の支援制度について、この文言でいいかどうかというふうなことについてご協議いただきます。

**委員（坊野公治君）** 井原市移住・定住支援制度。

**委員長（荒木謙二君）** 井原市移住・定住支援制度でよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

**委員長（荒木謙二君）** 次の今度は資料2、下の説明が要るか要らないかは。

委員（坊野公治君） 資料2の説明はあったほうがいい。比較しやすいのであったほうが  
いいと思いますが。

委員長（荒木謙二君） あったほうがいいというご意見ですが。

#### 〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） 資料3の。

次長（藤原靖和君） 資料2の一番右の列の13年間の減少率で、北部地域とそれ以外の  
地域が出てます。24.3%と7.7%なんですが、これを本文の5にもリンクすること  
になると思うんですが。

委員長（荒木謙二君） 事務局、リンクしておいてください。

次に、資料3の説明について。

委員（坊野公治君） 下は要らんですね。

委員（大滝文則君） この資料は農林水産省の資料。

委員長（荒木謙二君） そうです。

委員（大滝文則君） じゃあ、そのままを添付するんなら必要でしょう。

委員長（荒木謙二君） この説明は農林水産省のコメントかな。

主査（柳本兼志君） 全く関係ないです。それぞれ政策提言書に添付している資料は、そ  
れぞれの団体がつくっている資料を、政策提言書の中では、建設水道委員会で調査研究をし  
た中で資料からこういうことが見えて政策提言書につなげていったんだというふうな説明を  
何か入れるとすれば、この資料の中に建設水道委員会としてコメントを入れたほうがわかり  
やすいかもしれませんが。

委員（大滝文則君） これ見たときに、新規就農者数の推移は井原市のかなと一瞬思った  
んで、国のじゃったら国のままの資料を出しとくほうがいいのかな。

主査（柳本兼志君） 見た方もわかるかとは思いますが、建設水道委員会としてこの政  
策提言をする中で新規就農者の数、特に若い人の新規就農者の数は全国的にまだまだ伸びて  
きているということで、政策的に新規就農者の確保に動いていくということには無理がない  
というような意味合いでの資料ということになるんだと思うんですが、解説みたいなもんで  
す。

委員（大滝文則君） なぜ要らないかというたら、農林水産省の統計として資料を出しと  
るわけじゃから、それにコメントをつけ加えたら参考資料として僕はおかしゅうなってくる  
んじゃないかと思うんで。



委員長（荒木謙二君） 皆さんよろしいでしょうか、なしということで。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） 次の資料は農林課のほうからいただいたというふうなことでございます。これは28日までに皆さんご気づきの点がありましたら事務局のほうへ言ってください。

それでは、資料5、これは非常に丁寧に書いてあると思うんですが、これについても28日の5時までに訂正箇所を事務局のほうへ報告してください。

資料6、これについては12月10日現在というふうな形になっております。いつまで引っ張るかというふうなことなんですが、まだちょこちょこ出ておるというふうなことです。

委員（大滝文則君） 追加で何部出てるんですか。

主査（柳本兼志君） 5部ぐらいです。

委員長（荒木謙二君） ことしじゅうぐらいで締め切れればいいと思うんですが、それと意見、要望等というのを全部上げるべきか上げないべきかというご意見です。

委員（大滝文則君） 前回、いい話も悪い話も上げたほうがいいじゃろうという話もあったので、これを見た人が自分の意見が書いてないという話になっても困るので、全部上げりゃいいと思います、私は。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） それでは、資料7、これについては多い順にというふうな形で、それと意見についても同様に全部載つけるというふうなことでよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） 文章については書かれた方の意があろうかと思うんで余り訂正せんほうがいいんかと思うんですが、若干読みやすいようには変えるというふうなことでどんなですかね。全部が全部読み切れてないんですけど、基本的には当然意見を尊重しながら、誤字脱字については訂正するというふうなことで進めさせていただくというふうなことでよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） それから、資料8については、新しい調査結果が出てきておりますのでこれに差しかえるということによろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） 以上で政策提言書の最終ページまで協議が終了いたしました。

委員の皆様から全般について何かございますでしょうか。

委員（大滝文則君） 多賀委員、お世話になりました、いろいろとありがとうございました。

〈なし〉

委員長（荒木謙二君） それでは、おおむね政策提言書（案）がまとまりましたので、今回の協議内容を反映した政策提言書（案）を後日各委員に配付いたします。また、1月中旬までに全議員に政策提言書（案）を事前配付いたしまして、1月末ごろに開催予定の全員協議会において政策提言することについて提案する予定としております。全員協議会です承されましたら、2月定例会最終日の議場において建設水道委員会から所管事務調査の報告をした後、本会議終了後に議長及び正副委員長において市長室で市長に提言書をお渡しする流れで計画いたしたいと思っております。

ただいま説明いたしました政策提言書の提出までの流れについて何かございますでしょうか。

〈なし〉

委員長（荒木謙二君） それでは、所管事務調査については終わります。

今回の協議はここまでといたしたいと思っております。

なお、次回の委員会開催日についてなんですが、1月15日火曜日13時から開催します。

それでは、所管事務調査については終わります。

こちらからは何も持ち合わせておりませんが、委員の方、何かありますでしょうか。

〈なし〉

委員長（荒木謙二君）      ないようでございますので、これで建設水道委員会を終了いたします。

○議会への提案内容

内 容	協議先 委員会
<p>これでいいのか。</p> <p>山間地区に属する私の地域は、現在159軒有り肩を寄せ合って生活していますが、何と未婚者が3軒に1軒の割合で（46名）います！！現実には起きている問題で困っている家庭沢山有り深刻さを感じています。もはや本人や家庭だけの解決は皆無で行政も未婚解消課くらい設け、相談窓を広くし、真剣に取り組んでいただければと思います。</p> <p>8050問題や7040問題がクローズアップされて来ていますが、何処よりも先駆けて取り組んだ対策、行動をお願いします！！千年後の井原市でなく、今でしょう、期待します！！</p>	<p>建設水道 市民福祉</p>

○回答（案）

この度は、井原市議会へご提案いただきありがとうございます。

〇〇様からいただきましたご提案につきまして、井原市議会から回答させていただきます。

市の担当課（いばらぐらし推進課62-9521）に確認したところ、「若者の未婚・晩婚化が進み、その深刻さについては、少子高齢化が進行する本市としても喫緊の課題であると認識しております。こうしたことを踏まえ、市では、平成27年度に「元気いばら まち・ひと・しごと創生 総合戦略」を策定し、人口減少問題の課題解決に向けた様々な事業に取り組んでいるところであります。結婚推進につきましても、この総合戦略の中で、本年度新設した、いばらぐらし推進課が事業の展開を行っているところであります。

現在行っている婚活事業について紹介いたしますと、出会いの場の提供として、カップリング・パーティーを本市と、井笠圏域、高梁川流域を含め年10回程度実施しています。

また、岡山県では、結婚を希望する若者の支援を総合的に行う拠点として、「おかやま出会い・結婚サポートセンター」を設置しており、結婚を希望する若者に、スキルアップセミナーをはじめ、出会いイベントの開催や、縁結びサポーターによる結婚相談等が行われています。

さらに、このセンターが導入している、自ら相手を探すマッチングシステム「おかやま縁結びネット」の臨時窓口を、井原市の方が利用しやすいよう、昨年度から、市内の施設において年2回設置しており、これらについても活用しているところであります。

出会いの窓口が広がるよう、県の事業も周知して行くと共に、今まで以上の利用促進に努めてまいります。

このように、出会いの場を提供する様々な事業を行っておりますが、なかなか成婚にまで至る件数が少ないのが現状であります。今後、さらに結婚に向けての後押しが必要であると思ひ、新しい事業についても検討しており、また、市民の方の色々な意見もお聞きしながら、既存の事業の内容についても研究し、継続して行きたいと思っております。

引き続き、より多くの結婚を希望する方に、出会いの機会が提供できるよう、積極的に事業を推進してまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜ります。」とのことでした。

議会におきましても、市の実施する結婚推進事業について注視してまいります。

今後も市民の皆様からのご意見等を伺いながら、市政発展のため活動してまいりますので、よろしくお願ひいたします。